

News Release

2022年10月13日

チューリッヒ保険会社

長崎県および長崎県西海市と提携 西海市の森林整備保護活動「チューリッヒの森」プロジェクトを開始 2022年より5年間にわたり計33.98ha(東京ドーム約7個分)を整備予定

チューリッヒ保険会社(東京都中野区、日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)は、10月13日(木)、長崎県(知事:大石 賢吾)および長崎県西海市(市長:杉澤 泰彦)と協定締結式を執り行い、西海市雪ノ浦地区における森林の整備保護活動「チューリッヒの森」プロジェクトを開始します。

このプロジェクトでは、長崎県西彼杵半島最大の流域面積を持つ雪浦川流域において、源流から川中、河口までの荒廃した森林や竹林を対象に、一体的な森林整備を実施します。これにより、森林の二酸化炭素吸収を促進し地球温暖化対策に貢献するほか、防災や水源涵養、保健休養など森林の持つさまざまな公益的な機能を強化するとともに、美しい里山づくりによる地域活性化につなげます。また、当社社員はもとより、西海市の市民の皆さまにも森林ボランティア活動に参加いただき、森林・林業や環境に対する意識の向上を図ることで持続的な活動を目指します。

2022年から5年間にわたり5か所計33.98ha(東京ドーム約7個分)を整備予定です。初年度は、環境省が定める重要湿地で長崎県より自然環境保護地域に指定されている久良木湿原に隣接する荒廃森林の整備を行います。

チューリッヒ・インシュアランス・グループは、2014年以來カーボンニュートラル企業として事業を行っており、2019年には地球温暖化を1.5°Cに制限することを掲げた国連のグローバル・コンパクト「Business Ambition for 1.5°C」に最初の保険会社として署名しました。2020年にはブラジルでZurich Forestという森林再生プロジェクトを立ちあげました。

当社では2022年1月から喫緊の課題である気候変動の問題を日本の皆さまとともに考える契機にしたいとの考えから、YouTube公式チャンネル『Green Music produced by Zurich』を開設し、ヒーリングミュージックを提供しています。

今後もさまざまな活動を通して、森林保護再生活動に主体的に取り組み、気候変動および地域コミュニティに対して貢献してまいります。

「チューリッヒの森」プロジェクトの概要

- (1)所在地:長崎県西海市大瀬戸町雪浦河通郷字久保谷 342-26 他
- (2)面積:33.98ha
- (3)期間:2022年10月13日より2027年3月31日まで
- (4)作業内容:間伐、除伐、更新伐、植林など

(チューリッヒ・インシュアランス・グループについて)

チューリッヒ・インシュアランス・グループ(以下、「チューリッヒ」)は、210以上の国や地域で幅広い商品・サービスを提供する世界有数の保険グループです。チューリッヒは、150年前の設立以来、保険業界に変革をもたらし続けています。近年は、従来の保険サービスの提供に加え、人々の健康促進や気候変動による影響への対応力を高めるといった予防を目的としたサービスの提供も行っています

チューリッヒは、「明るい未来を共に創造する」というパーパスを掲げ、世界で最も社会的責任と影響力のある企業の一つとなることを目指しています。チューリッヒは2050年までに温室効果ガスのネットゼロの実現を目指しており、MSCI ESG格付けにおいて最高位の評価を受けています。また2020年には、ブラジルの森林再生と生物多様性の回復を支援する「チューリッヒ・フォレスト・プロジェクト」を立ちあげました。

チューリッヒ・インシュアランス・グループはスイスのチューリッヒ市に本拠を置き、約56,000人の従業員を有しています。チューリッヒ・インシュアランス・グループ・リミテッド(銘柄コード:ZURN)はスイス証券取引所に上場しており、米国預託証券プログラム(銘柄コード:ZURVY)のレベルIに分類され、OTCQXにて店頭取引されています。当グループに関する詳しい情報は www.zurich.com をご覧ください。